

令和4年10月31日

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

10月の運営推進会議は、コロナウイルス感染拡大防止の為、事前にホームの状況等を書面で送り、後日皆さんから意見を聞き運営推進会議開催に変えることにした。

### 【入居者状況】

入居者9名（女性 9名 男性 0名）

平均年齢 90歳 平均介護度 2.1

### 【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・体操
- ・ 計算ドリル・新聞折り・書写・雑巾縫い・
- ・ 壁画作り・刺し子
- ・ 行事～敬老会

### 【事故・ヒヤリハット・苦情】

・ 事故 6件（転倒・負傷・離設・トラブル）

・ ヒヤリハット 3件（転倒・転落の危険）

### 【その他】

\*身体拘束適正委員会

・ 身体拘束等はなし

BPSD 症状のある方の対応を検証

\* 研修

- 接遇研修・転倒や腰痛災害防止研修後の伝達講習を実施

\* コロナ感染報告

- 入居者の方への感染拡大はなかった

\* 火災時の避難訓練実施

- 今回は日中想定で 2 階より出火した場合の訓練を行った。夜間に比べ日中は職員も多い為、お互いが声をかけあいながら分担して避難訓練が出来た。木造建ての為、火の回りも早いと言われているので、2 階の方を早く下に避難する事を優先したが、エレベーターが使用できない為、階段使用は危険が伴う。本日は訓練にて、階段を降りてもらった事はなかったが、実際は座った状態で滑るように降りる方法が良いように感じた。
- 消火器による消火訓練は何度しても良い。初期消火で火災の範囲や人命救助が大きく変わってくるので、慌てず確実に初期消火を行う事が私たちに出来る一番の初動救命だと感じた。

\* 事故件数の増加について

- 動きが活発で思わぬ行動や転倒事故・入居者間のトラブルが発生している。その都度対応を検討し対策はしているが、入居者の方にも思いがあり、動きを制限する事は出来ない。出来る事を行ってもらい安心して心地よい時間を持ってもらえるよう工夫したり、可能な範囲で見守りを行い対応している。

【意見】

- 久々の日中想定での訓練では、新たな課題の発見もあった事で、様々な想定で日頃から備えていく事が大事だと感じた。複数職員がいる場合の訓練については机上で皆さんの動きを想定してみるだけでもとても有効な訓練だと思う。
- 介護度の軽い方の予測を超えた動きが多い点は、事故防止への気配りが大変だと感じた。出来る事を行う工夫は良い事だと思う。
- 地域行事については、年末のしめ縄教室を実施する予定。コロナ感染拡大等で中止もある。